



# ADRC Highlights

Vol.99

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

August 16, 2004

## ➤ ADRC 新任客員研究員レポート □ ユアン・イー研究員(中国)

私は、2003年より中華人民共和国民政部(MCA)・国家減災中心(NDRCC)のスタッフとして勤務しています。民政部は、国の災害救援活動を組織・調整する役割を担っています。そして昨年設置されたNDRCCでは、防災や災害救援に関する政府の意思決定の支援を行い、また技術・情報支援、応用研究、人材育成などの活動を中心に行っております。私自身は、大学院の修士・博士課程において災害研究に携わっており、現在では、災害評価や情報管理が主な業務となっています。



中国は、多岐にわたる地形や変動しやすい気候が原因となっており、洪水や干ばつ、地震とほぼ全ての種類の自然災害が発生しやすい国となっています。過去10年には、1996年の麗江地震(雲南省)、1998年の長江と松花江沿いで発生した洪水、2003年の巴楚加師地震(新疆ウイグル自治区)や淮河と渭河沿いで発生した洪水など、数多くの大惨事を経験しました。1990年以来、自然災害による年間直接経済損失は、GDPの4-6%に及び、死者数は数千人にのぼっています。このようなことから、自然災害が、中国における持続可能な社会・経済開発を妨げる大きな障害となっていることは明らかです。

自然災害による被害や損失を減少させるために、中国政府では、政府間における業務分担の調整、異なった行政レベルによる業務管理などを目的とした、自然災害の総合的な管理システムを構築しました。また、中国の総合的な防災連携メカニズムについては、国務院が調整役となり、中国国際減災委員会や全国抗災救災総合調整室などを設立しました。このような調整機関によって、異なる行政レベルの防災関連官庁に対して統一した考えを浸透させ、防災に関する政府決定を適宜に実施できるようになりました。

このたび7月より、アジア防災センター(ADRC)の外国人客員研究員として日本に3ヶ月滞在することになりました。当センター在任中は、日本の防災政策について学び、中国に関する災害情報や防災システムを紹介したいと考えています。また、そうした中で、中国と日本およびアジア諸国間の一層の国際防災協力関係を促していきたいと思っております。

## ➤ NGO アジア災害救援・防災ネットワーク協議会が マレーシアで開催、ADRC が参加

防災ネットワーク(Asian Disaster Reduction and Relief Network-ADRRN)の協議会が開催されました。アジア防災センターは、国連人道問題調整事務所アジアユニットとともに、2002年からADRRNの活動を支援しており、今回の協議会にも積極的に参加しました。今回の会合では、ADRRNの組織強化と活動の活性化について議論が交わされ、ADRRNの目的や理念について参加メンバーで合意を得るとともに、今後のネットワーク推進のため、1年ごとの持ち回り議長制度を設け、今年度はMERCY Malaysia(団体名)が議長役を引き受けることとなりました。また、ウェブページでの意見交換をより活発にするために、ADRRNのウェブページの改訂を行うこと、来年1月に開催される国連防災世界会議でADRRNの広報を行うことなどを検討していくこととなりました。

## ➤ 8月24日開催の「国際防災オープンフォーラム」が 間近に迫る、参加者を追加募集中

来年1月神戸で開催する国連防災世界会議のプレイベントとして、国際防災オープンフォーラム「大災害からの復興：万人のためのより安全の世界へ向けて～」を8月24日(火)14～17時半、東京の国連大学にて開催します。

このフォーラムは、アジア防災センター(ADRC)のほか内閣府、国連国際防災戦略(ISDR)事務局、国連大学、国連開発計画(UNDP)が主催者となり、米国国際開発庁(USAID)、日本放送協会(NHK)、兵庫県庁の後援・協力をいただき開催するものです。

講師・パネリストは、ヘレナ・モリン・ヴァルデス氏(国連国際防災戦略事務局次長)、パトリシア・ボルトン氏(パテル・シアトル・リサーチ・センター主任科学的研究員)、原田正司氏(内閣府大臣官房審議官(防災担当))、カマル・キショア氏(国連開発計画(UNDP)南・南西アジア地域防災アドバイザー)、アンドリュー・マスキリー氏(UNDP危機予防復興支援局防災ユニットチーフ)で、災害に強い社会づくりには、被災後の復興・再建の過程が重要であるとの認識のもと、イランやアメリカ、日本での経験および国連の役割について分かりやすく講演します。コーディネーターは、重川希志依(富士常葉大学)氏が務めます。

参加費は無料で、どなたでも参加できるこのフォーラムでは、参加希望者を追加募集しております。希望される方は、8月19日までに氏名・職業・住所・電話/FAX番号をrecoveryforum@adrc.or.jpまでお知らせください。http://www.adrc.or.jp/events/August\_Forum/jps.htmlでも詳細を掲載しております。みなさまのご参加をお待ちしています。

2004年6月17日、18日の2日間、アジア災害救援・

ご意見・ご要望等があれば 右記までご連絡ください。	編集・発行： <b>Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)</b>
	〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F E-mail: <a href="mailto:editor@adrc.or.jp">editor@adrc.or.jp</a> TEL: 078(230)5540 FAX: 078(230)5546
	誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行(予定)